

展覧会情報

## ホイットスラー展

2014年9月13日(土) - 11月16日(日)

James McNeill Whistler Retrospective



《白のシンフォニーNo.3》1865-67年  
バーバー美術館（バーミンガム大学附属）  
The Barber Institute of Fine Arts, University of Birmingham

19世紀後半の欧米の画壇において、最も影響力のあった画家・版画家の一人であるジェームズ・マクニール・ホイットスラー（1834-1903）は、アメリカに生まれ、英国とフランスを主な拠点として活躍しました。

“音楽は音の詩であるように、絵画は視覚の詩である。そして、主題は音や色彩のハーモニーとは何のかわりもないのである”と語ったホイットスラーは「芸術のための芸術」を唱えた唯美主義を主導し、作品タイトルに“シンフォニー”、“ハーモニー”、“ノクターン”といった音楽用語を用いることで、絵画の主題性や物語性を否定しました。

また、構図や画面空間、色彩の調和などに関して、日本美術からインスピレーションを得て独自のスタイルを確立したジャポニズムの先駆者として世界的に知られています。本展では、東洋の陶磁器など生前の所持品や、影響を受けた浮世絵も併せてご覧いただけます。

新たな芸術誕生の牽引者となったジャポニズムの巨匠・ホイットスラーの油彩画・水彩画そして版画の代表作約130点を集めて開催される、日本では27年ぶり、世界でも20年ぶりとなる大規模な回顧展です。

### 関連イベント

#### 友の会特別解説会

日時：2014年10月17日(金)午後5時～6時

集合場所：当館1階ロビー

集合時間：午後4時55分

募集人数：先着20名

解説者：池田祐子（当館主任研究員）

申込み先：京都国立近代美術館 事業係

電話：075-761-4115

（月曜から金曜まで 午前10時～午後5時）

※お申込みの際は、お名前・会員番号をお伝えください。

#### 第4回畠山公開シンポジウム

「ジャポニズムの全貌～

ホイットスラーから何が始まったのか？」

日時：2014年10月4日(土)午前10時～午後5時

会場：京都国立近代美術館1F講堂

主催：ジャポニズム学会

定員：100名（聴講無料、事前申込み制）

（※定員に達しましたので受付は終了しました）

#### 京都国立近代美術館 ホワイエコンサート

日時：2014年11月8日(土)

午後5時10分開演

会場：京都国立近代美術館1Fホワイエ

入場：無料

定員：先着100名（椅子席）

※満席の場合は入場をお断りすることがあります。

トーク：池田祐子（当館主任研究員）

演奏：京都市立芸術大学・大学院生

#### 「舞と着物のジャポニズム with 京都学生祭典」

日時：2014年10月12日(日)

午後1時30分～／午後7時すぎ～

主催：NHK 京都放送局、京都学生祭典

会場：岡崎公園（平安神宮など）

※観覧は自由です。当日会場にお越しください。

※本イベントの詳細は、NHK 京都放送局ホームページ内特設ページをご覧ください。

主なテーマ

キュレトリアル・スタディズ07：  
 「日本近代洋画と浮世絵—鏡としてのジャポニスム」  
 秋の日本画  
 関西の現代美術  
 陶芸：イギリスへのあこがれ  
 卓上——【版画】と【その他】コレクションより  
 パリの日本人画家たち  
 特集展示：「絵画」の発見—フランス近代絵画の展開  
 屋外彫刻



会場写真：キュレトリアル・スタディズ07(左)、特集展示(右)

3階企画展会場で開催中の「ホイッスラー展」に関連する展示を行っています。



浅井忠  
 《グレー風景(2種) [陶器  
 図案]》1901年頃



佐伯祐三  
 《裏街の広告》1927年

キュレトリアル・スタディズ07：  
 日本近代洋画と浮世絵—鏡としてのジャポニスム

日本の美術・工芸品が19世紀後半の欧米で一大ブームを巻き起こし、新たな芸術動向に大きな影響を与えていたことは、当時の日本にも報告されていました。それは日本の伝統的美術の保護やその教育の重視という流れを生み出す一方、洋画を学んでいた人々には、日本における「西洋の美術」はどうかという問いを突きつけることになりました。西洋絵画の技法取得に腐心していた洋画家たちが、欧米におけるジャポニスムを介して、自らの芸術をどのように模索したのか、浮世絵との関わりを手がかりに考えます。

特集展示：「絵画」の発見—フランス近代絵画の展開

19世紀半ばに詩情豊かに市井の風景や人物を描いて印象派に影響を与えたコローから、ホイッスラーと交流のあったファンタン＝ラトゥールやモネ、エコール・ド・パリの作家たちにいたるフランス近代絵画の豊かな展開の一端をご覧ください。また、そのフランス、パリで学び、活躍した藤田嗣治らの作品も「パリの日本人画家たち」と題して、併せて紹介しています。



NFC 所蔵作品選集 MoMAK Films 2014 イギリス映画と演劇

「ホイッスラー展」の関連企画として、イギリス演劇の映画化作品から、英国のダンディズムをキーワードに、その代表格といえるイギリス人俳優 レスリー・ハワード、ダーク・ボガード、ローレンス・オリビエの主演作を上映します。『銃殺』の監督ロージーは、ハリウッドの“赤狩り”で母国のアメリカからイギリスに亡命した作家であり、ホイッスラー同様にヨーロッパを拠点に数々の傑作を放ちました。

<p>10月25日(土)                  午後2時～3時26分                  『ピグマリオン』                  1938年(86分・35mm・白黒)                  監督：アンソニー・アスキス、レスリー・ハワード</p>	<p>10月25日(土)                  午後3時40分～5時06分                  『銃殺』                  1964年(86分・35mm・白黒)                  監督：ジョセフ・ロージー</p>	<p>10月26日(日)                  午後2時～4時45分                  『オセロ』                  1965年(165分・35mm・カラー)                  監督：ステュアート・バージ</p> 
---	---	--

料金：1プログラム 500円(当日券のみ)  
 会場：当館1階講堂  
 定員：先着100名・各回入替制  
 入場券は会場入口にて当日午後1時30分より販売  
 企画協力：富田美香(立命館大学映像学部教授)  
 川村健一郎(立命館大学映像学部准教授)

◆休館のお知らせ◆

館内改修工事のため、2014年12月1日(月)～2015年3月26日(木)まで全館休館しますのでご了承ください。

